

プロローグ(夏合宿の総括)

この度夏合宿において成果として、白蓮洞・沢穴の解明そしてマイコニ平の滝谷の踏査といったものがあげられよう。

白蓮洞は-355m地点まで潜ったが、まだ底深く続いていたが、装備・人員とも足りなくなりひきあげたわけである。白蓮洞の位置づけとして、日本では第2の奴奈川洞(-350m)をぬき、千里洞にせまる穴であった。今後、再度アタックをするとしたら、隊員は少なくとも8名以上、梯子250m以上と1週間以上の時間といふものを見積っていなければいけないと思う。

次に沢穴であるが、我が関大探検部洞窟班が千里洞に挑戦するまでのONE STEPであった熊石洞(-120m)、ほとんど同じ大きさの穴で最深部まで-107.5mあった。この穴を現在の我々の技術と改良とでもってすれば二日かかりですませることができた。これを見て我が洞窟班といふものか、青海を踏み台と、いかに進歩してきたかといふことが明らかなろうと思ふ。

最後に滝谷の踏査であるが、これはまだ、我が洞窟班ではなされてなく、この度再三歩いてみたのであるが、まだ梯子を使わなければ潜るここのできない穴を4つばかり発見した。地形的にみて、いずれもそれほどどの深度は期待できないが、穴だけは潜ってみなければわからぬ。

なお、関係各位いろいろと御協力いただきました事を深く感謝します。

日程

20日

AM 10:16 梅田発

三年 小木君、二年 田中君、一年 橋高君・小原君・井上君計6名。

杉江君は十二指腸をわずらい 27~8日入院とのこと。

21日

AM 8:00 青海到着、青海町役場の研修会ザマイコニ平であるとのことで役場の自動車ト小木・橋高・小原が便乗させてもらい研修会に同行する。回った所は、新マイコニ・千里洞・奴奈川洞・銀鉢洞・西姥が丸。その間田中・井上は駅前で食糧購入。

PM 1:30 ジープにて田中・井上が林道の終点に到着。その直研修会も終り林道の終点の荷を新マイコニのテント場までダブルボッカ 5:00 テント設営

22日

8:45 まず大穴へ行き後滝谷に入ろうとしたが直天洞ヒ大穴ヒをまちがえる。

12:00 大穴より春発見した滝谷にある穴へまず行こうとして、滝谷の沢をつめ、途中より南の尾根を越えてさかしたがわからず小木・田中・橋高・井上・小原と三隊に別け沢底下リテント場へもどり

こうとする

5:00 3隊ともテント場到着、田中・井上隊30m+ δ のたて穴を見つける。

23日

7:45 出発

田中・井上隊、ハ木・橋高・小原隊の2隊に別け春々がし田中左すがす田
め白樺平より入ってゆく。ドリーネー木+ δ で多し。滝谷の一応屋
飯洞と名付けた所で2隊合流し昼飯を食い、さらに南へ行く。
その間、堅い木洞石けり洞と梯子を使用しなければ潜れない穴を
計三つ見つける。

7:30 テント場に着く

24日

6:45 出発

暑いのに涼い所を目の前にして太陽の下を走りまわるのは、たまき
れず、千里洞の沢を少し行った所の白蓮洞へ入洞開始、半日仕事
ぐらいいの気持であったが、溶てみると案外深い。田中・井上で25mまで
(オ1テラス)まで降りる。ここよりハ木が加わり、-45mのオ1ホールへ到達
さらに、オ1テラス、オ1ホールを通過して、さらにオ1ホールの端より、20m梯
子を降り、引きあげる。

25日

6:45 出発

田中、小原 アタック隊。橋高、オ1ホールの支洞にて虫の採集。田中、小原、
幻魔ルートを降りてゆく。途中の15mの梯子をフックスし、美女の滝
にぶつかり、明日にまわすことにする。

5:30 出洞開始

26日

6:50 出発

田中・井上、ハ木 アタック隊。美女の滝の落差が、かなりあるように、
思われ、ボルトを4本打ち、梯子20mを垂らしてみる。ハ木、20m
降りたが、窓は見えない。冷たい水をミダリ、かるえる程だ。

2:30 出洞開始

27日

7:00 朝食、午前中 休養

12:00 杉江、合宿に参加。

1:15 田中、3名の一年生、通天洞より大穴まで測量。

ハ木、杉江 春に発見した新洞を、さがしに、大穴より尾根を越
え、白蓮平へ行く。

28日

7:30 出発

ハ木、田中、美女の滝、オ14mニーをこえて、オ24mニーにぶつか
り梯子の用意がなく出洞する。

杉江、小原 滝の上で確保。井上、橋高、洞口。

3:00 出洞完了

29日

6:00 朝食。午前中休養。

1:00 出発

田中、小原、白蓮洞、沢穴より、大穴へ踏査。大穴の沢より
#2 小原洞、橋高小原洞、ハ木專洞、双子洞に測量。南沢
へ降り、テント場へ。残り4名、南沢をつめ、町界尾根に
立ち、電谷の沢を下り、大穴に出る。

30日

6:50 白蓮洞入洞。

橋高、小原、洞口及びオーテラス。井上、田中、洞内より測量開始。

杉江、美女の滝の上で確保。ハ木 アタック。ハ木、オーテラス
にてを通過し、オ34mニーの下で、井上、田中を待つ。

1:00 井上、田中は、測量をしつつオ34mニーまで行き、ハ木
と合流。3名によって、アタック再開。井上、ニラマレの
間で写真。採石困難なウミユリ化石をハ木、必死にとら
うとする。田中、ニラマレの間を通過、オ3ホールドに到達。
危険であるため、それ以上進むことを残念。撤収開始。
-100m 地点まで撤収。だが、人員不足のため、残念する。

7:30 出洞完了

31日

9:00 出発。撤収再開。

2:00 撤収完了

3:30 テント場 休息。

8月1日

8:00 出発。

白蓮洞の横にあるリードウ盤、橋洞を、一年3名にて、入洞
測量。沢穴へ測量を開始。道をつくり、梯子10mと梯
子20mをフィックスし、オーテラスに到達。

4:30 テント場

渡辺氏、朝日新聞記者をつれてこられる。取材。

2日

8:15 出発

田中、杉江、沢穴をアタック、最深部達す。午後より、井上
小原、入洞測量。撤収。

3日

7:00 朝食。

雨がはげしく降る。田中、資料整理。

4日

8:00 出発

ハ木、橋高、小原は、ドリーナ群を測量。杉江、田中、井上は
春に発見した新洞へさがりに行く。発見、位置、確認。

6:30 夕食。キャンドルサービス。

5日

3:30 朝食。

5:30 下山開始。